

## 平成 29 年度 LD 等通級指導教室の増設について

特別支援教育課

## 1 設置の目的

インクルーシブな教育をさらに推進するため、発達障がい等により特別な教育的ニーズのある児童生徒が通常の学級に在籍しつつ適切な教育対応が受けられる学びの場を整備するとともに、通常の学級での支援力の向上を図るため、LD等通級指導教室を増設する。

## 2 現状と必要性

- ① 平成 19 年度に 2 教室を設置して以降、徐々に増設し、現時点で小学校 26 校 28 教室を設置。
- ② 小・中学校の「学校解決力」「通常の学級における指導力」の向上も喫緊の課題であり、それを高めるための支援機能が期待される。
- ③ 必要としている児童生徒に対し不足している状況。・全国で唯一中学校に設置されていない。

## 3 増設の考え方

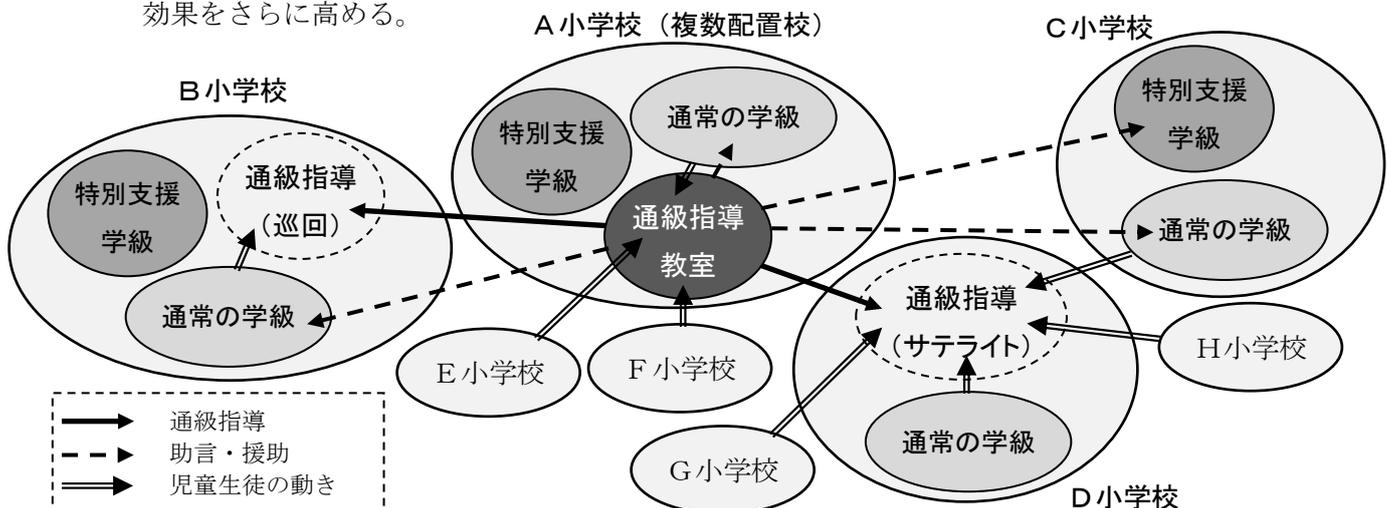
## (1) LD 等通級指導教室未設置地域の解消 (4 教室)

- ・通級による指導の対象となっても地理的な要因で通うことが難しい児童生徒がいる 4 つの地域に設置する。

【設置予定校】白馬北小学校（大北北部） 大下条小学校（下伊那南部）  
佐久穂小学校（佐久南部） 麻績小学校（塩筑北部）

## (2) 複数配置校による通常の学級への支援機能の拡充 (2 教室)

- ・巡回指導を行い、家庭の事情等で設置校に通うことのできない、児童に対応する。
- ・専門性の高い教員と経験年数の短い教員をペアで配置し、OJTで専門性の高い教員を養成する。
- ・発達障がいのある児童生徒の在籍する通常の学級に助言・指導する。
- ・県内 4 地区に 1 校ずつ設置し、それぞれの地区における効果検証や情報交換を行い、通級指導の効果をさらに高める。



【設置予定校】並柳小学校（中信）、 箕輪中部小学校（南信）

## (3) 中学校への設置 (5 教室)

- ・中学校において多様で連続的な学びの場を整備する。
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級の在籍率が高い学校に設置し、「学びの場」の見直し等も踏まえて、その時点で最も適切な支援ができるような校内体制を整える。
- ・小学校でLD等通級指導教室をしていた児童が、中学校でも継続して支援できるように設置する。

【設置予定校】広徳中学校（長野市） 上田第三中学校（上田市） 開成中学校（松本市）  
伊那東部中学校（伊那市） 旭ヶ丘中学校（飯田市）